



## SDGs 達成に向けた取組み

### 太陽光発電設備の導入



#### 目的・背景

令和6年春に、当社は事務所を新築移転しました。設計段階では、いかに施工費を縮小するか思案していましたが、多少費用が掛かって、少しでも環境に配慮した事務所にしようと思ひ、小規模ですが太陽光発電設備の導入をいたしました。

#### 具体的な取組内容

##### 令和6年1月～2月

建築業者と打ち合わせを行い、太陽光発電設備を設置する旨を伝えました。

設置箇所や費用等を考慮し、あくまで自社にて消費することを目的とした規模の設備としました。

消費電力を少なくするため、エアコンの効率を上げるよう建物は気密性の高いものとし、照明は消費電力の少ないLED器具を選定しました。また電気の消し忘れの多い共用部などはセンサー付き器具としました。

##### 令和6年3月～4月

自社にて電気工事を行いました。環境に配慮し使用する電線はエコケーブルにしました。

##### 令和6年5月

無事、新事務所が完成し移転しました。

太陽光発電設備にて作られた電気は自社消費していますが、自社にて消費しきれない余剰な電気 (特に休日など事務所閉所時) については売電を行っています。

#### 成 果

- ① 買い取り電力、消費電力の抑制
- ② SDGs に対する意識の向上

- ・ 自社にて電気を発電することにより、当然買い取る電気の量は減りました。また皆が「せっかく自社で電気を発電しているなら、無駄遣いせずなるべくそれでまかなえるようにしよう」と思ってくれているようで、以前に比べ、こまめに電気を消す・照明やエアコンの消し忘れをしないなどの細かな部分での節電ができるようになりました。
- ・ 今回太陽光発電設備を設置することは SDGs の一環であることを社員一同と共有することにより、皆が SDGs というものを学び、身近なものと感じ、個人が行う小さな事柄も SDGs の掲げる目標に寄与していると認識できました。

#### 担当者の思い

「会社の成長・発展と従業員個人の幸福が常に一致する経営」・「電気工事を通じて社会に貢献する」は初代代表取締役より続く当社の企業理念です。

SDGs に取り組むことにより、今までより具体的に行動へ移すことができるようになりました。

(代表取締役 宮崎 洋行)

